

# 教職員を対象とした ICT 活用研修会

池田 大樹<sup>\*1</sup> 鈴木 一貴<sup>\*1</sup> 豊田 美咲<sup>\*1</sup> 西岡 幸紀<sup>\*1</sup> 池田 勇<sup>\*2</sup> 西野 和典<sup>\*3</sup>

<sup>\*1</sup>九州工業大学 大学院情報工学府 <sup>\*2</sup>NPO 法人 情報教育支援研究会 <sup>\*3</sup>九州工業大学

<sup>\*1</sup>{o675003t, o675017k, o675024m, o675027y}@mail.kyutech.jp,

<sup>\*2</sup>kamaken9@gmail.com, <sup>\*3</sup>nishino@lai.kyutech.ac.jp

タブレット端末（アップル社製の iPad）を使用し、実際に触れてもらいながら活用例を紹介する研修会を教職員及び教職大学院生対象に行った。実践として、同アップル社製プレゼンテーションアプリである「Keynote」を用いて行った。

## 1. はじめに

近年、スマートフォンの普及と同時に、iPad に代表されるタブレット端末も急速に普及してきおり、今までよりも手軽に様々な場面でコンピュータが利用できるようになった。それに伴い、一般ユーザーや企業内での利用に留まらず、教育現場での活用も期待されている。そこで、今後ますます普及が進むと考えられるタブレット端末及び、その他の新しい情報機器も含め、教育現場で円滑に導入するための第一歩として、ICT (Information and Communication Technology) 活用研修会を行う。

## 2. タブレット端末について

タブレット端末とは、タッチパネル式の携帯できるコンピュータの一種である。主に、アップル社の「iPad」、グーグル社の「Android 端末」、マイクロソフト社の「Windows タブレット」などがあるが、本研修会では、現在、最も操作が簡単と考えられるアップル社製の「iPad」を使用した。

## 3. 実践

### 3.1 実践方法

今回の実践となる ICT 活用研修会は、福岡県内の小学校、中学校、高校の教職員及び教職大学院生を対象にして行った。iPad の台数は、二人で一台使用できるように準備し、インストールするアプリは標準のもの以外に、追加アプリの選定は、山口大学教育学部附属特別支援学校「iPad 活用の取り組み」<sup>(1)</sup>で紹介されていたものを事前にインストールした。追加のアプリは、iPad を自由に触れる時間を設け、そこで個別に利用してもらう形をとった。

研修会の流れとして参加者は、始めに iPad の基本的な操作の説明を受け、写真と動画の撮影機能を使ってもらい手軽にタブレット端末を使えることを確認し、その後、アップル社が開発したプレゼンテーション用アプリ「Keynote」を利用し、小学生向けの簡単なグラフを作成、そして、作成したグラフについての感想動画を撮影し、挿入を行う学習を体験した。

### 3.2 実践結果

ICT 活用研修会での様子を図 1 に示す。この図 1 は、Keynote でグラフを作成し、ワイヤレス実物投影機（AVerVision W30）を使いながら、前で発表している様子を示す。ワイヤレスのため持ち運びながら手軽にプロジェクターへ画面を映すことができる。



図 1：ICT 活用研修会の様子

実践の結果、受講者からの意見として、「タブレット活用のイメージがつかめた」、「写真や動画の活用を取り組みやすそうだ」、「教育用アプリがたくさんあるというのがわかった」という意見を得ることができた。また一方で、「パソコンでアプリの管理をする方法がわかりにくい」、「中学校での活用がわからない」という意見もあったが、タブレット端末活用の大まかなイメージは知ってもらえることができたのではないだろうか。

## 4. おわりに

本研修会では、教職員・教職大学院生が、急速に普及しているタブレット端末の活用を実際に体験した。今回は主に iPad を使った実践であったが、今後さらに、他のアプリの活用や、Android、Windows タブレットの活用も含めて、研修会を行う必要がある。

## 参考文献

- (1)山口大学教育学部附属特別支援学校「ICT 活用プロジェクト」<<http://www.fuyou.yamaguchi-u.ac.jp/pg39.html>> (2015/05/10 アクセス)